

(タイトル) スペシャルニーズ歯科と病診連携

(抄録)

障害や基礎疾患、低年齢で対応が難しい患者さんや、コミュニケーションや安全性の確保において特別な配慮が必要な患者さんの歯科診療を、最近では「スペシャルニーズ歯科」と呼び、従来の「障害者歯科＝身体拘束」の考え方から、障害の有無にかかわらず患者さんの意思や尊厳を尊重する考え方へと変化してきています。演者が勤務する群馬県立小児医療センター歯科・障害児歯科は、主に障害児・有病児の三次歯科診療を目的として開設され、今年で20年が経過しました。現在では障害者のみならず低年齢児の多発齲蝕を含めた「スペシャルニーズ歯科」を当科の特徴である全身麻酔下歯科治療を中心に実施し、その他口腔外科小手術や摂食嚥下リハビリテーションにも対応し、栃木県を含め県外からのご紹介も増えてきています。

一方、栃木県は私が勤務する群馬県と同様に歯科大学が設置されていないので、一次医療機関が「スペシャルニーズ歯科」患者さんをおある程度受け入れざるを得ない状況であります。が、多少なりとも不安を感じながら診療を行っているかと思います。しかしながら、全てを完璧にできなければいけないわけではありません。「スペシャルニーズ歯科」患者さんの多くは、診察のためのトレーニングが必要なように、一次医療機関の先生方も患者さんと一緒に診療室でできることを少しずつ増やしていけば良いと思います。

今回の講演ではさまざまな疾患や障害、社会的背景を有する「スペシャルニーズ歯科」患者さんの歯科診療時における診療の考え方や実際の対応方法、病診連携について、明日から使えるテクニックを交えながら歯科麻酔、障害者歯科専門医の立場から事例を交えて解説したいと思います。

木下樹(たつき) 略歴



専門

歯科麻酔 障害児（者）歯科 有病児（者）歯科

経歴・職歴

平成10年 東京医科歯科大学歯学部歯学科卒業

平成14年 東京医科歯科大学歯学部大学院修了（歯科麻酔学）

東京医科歯科大学歯学部附属病院

平成 15 年 国立成育医療センター手術・集中治療部
平成 17 年 群馬県立小児医療センター診療科長
平成 20 年 群馬小児保健賞受賞
平成 29 年 群馬県歯科保健賞受賞
令和 3 年 母子保健奨励賞受賞

資格・役職

歯学博士

日本歯科麻酔学会専門医
日本障害者歯科学会専門医
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定療法士
AHA-BLS コースディレクター
AHA-ACLS リードインストラクター
AHA-PALS リードインストラクター
日本静脈経腸栄養学会TNTドクター
歯科臨床研修指導医

東京医科歯科大学非常勤講師

日本歯科麻酔学会代議員
日本障害者歯科学会代議員
関東障害者歯科臨床研究会幹事
渋川摂食嚥下研究会幹事